

## 追悼 小林逸太 教授



### 弔 辞

小林先生，先生のご逝去を悼み，東海大学政治経済学部および東海大学政治経済学部の教え子を代表致しまして，つつしんでご霊前に告別の辞をささげます。

先生は，早稲田大学政治経済学部を卒業された後，日本勧業銀行に入行されました。しかし，経済学の更なる勉強への思いを断ち切れず，5年後に同行をご退職されて，早稲田大学の大学院に進むという選択をされました。その後，同大学院の修士・博士課程を経て，1975年に東海大学に赴任されました。

東海大学における先生の担当科目は産業経済学でした。その中では特に専門家としてのかかわりの深かった独占禁止法と競争政策そして流通産業に多くの講義時間が割かれ，数々の興味深い事例をその理論的な背景を紹介しながら受講者の関心と理解を高めてくれる講義である，という高い評価を得ていらっしゃいました。研究においても多岐にわたる分野で成果を出されていらっしゃいます。特に，独占禁止法とシカゴ学派の関わりの研究，ロナルド・コースによって始められオリバー・ウィリアムソンによって発展させられた新制度派経済学に関する研究，日本，欧州の流通問題の研究等がその中心であったと認識しております。また，社会活動の分野においては国税庁国税審議会委員としても多大な貢献をなされました。

小中山 彰

お盆の時期の突然のご逝去にもかかわらず、お通夜には大学関係者のみならず、多数のご友人、そして様々な分野からも多くの方々がかかけつけ、先生の死を悼まれました。先生のお人柄と社会における幅広いご活躍が偲ばれるものでありました。

ご在職中は、教育・研究・社会活動以外においても、就職部長そして大学院経済学研究科の委員長をお務め頂き、大学および研究科・学部・学科運営においても多大な功績を残されました。しかし、先生がそのお力をもっとも発揮されましたのは、学生の教育でありましょう。学部・大学院における熱心な指導振りは、なによりもその温かいお人柄によって多くの学生たちに慕われるものでした。お通夜には多くの教え子がかけつけ、涙を流し、先生のお顔を拝見している姿を見て、私も胸が熱くなりました。育てられた学生達もいつまでも先生を忘れずに、社会で活躍してくれることでしょう。

小林先生、今はただ、感謝の気持ちを込めて、謹んでお別れを申し上げます。先生、どうぞ、安らかにお眠り下さい。そして先生の東海大学政治経済学部とそこから育ちました沢山の教え子の将来を見守って下さい。先生の御霊のご冥福を心からお祈りし、弔辞とさせていただきます。

平成24年3月31日

東海大学政治経済学部  
学部長 小中山 彰

## 小林逸太教授略歴

1944年10月21日生

### 【学 歴】

1968年3月 早稲田大学第一政治経済学部経済学科卒業

1973年3月 早稲田大学大学院経済学研究科応用経済学専攻経済政策論専修修士課程修了

1976年3月 早稲田大学大学院経済学研究科応用経済学専攻経済政策論専修博士課程修了

### 【職 歴】

1968年4月 日本勧業銀行入行

1970年7月 日本勧業銀行依願退職

1975年4月 東海大学政治経済学部非常勤講師  
1976年4月 東海大学政治経済学部講師  
1979年4月 東海大学政治経済学部助教授  
1986年4月 東海大学政治経済学部教授  
2010年4月 東海大学政治経済学部特任教授

1996年4月～1998年3月 東海大学就職部長  
2002年4月～2008年3月 東海大学大学院経済学研究科委員長

【学会ならびに社会における活動等】

日本経済政策学会  
日本ダイレクトマーケティング学会  
日本商業学会  
日本計画行政学会  
日仏経済学会  
公共選択学会  
国税庁国税審議会委員 2003年1月～

【研究業績】

「流通機構と競争政策」, 「独占禁止法の政策思想：シカゴ学派の場合」, 「新しい諸学派の動向：シカゴ学派」, 「情報ネットワークと企業間取引－取引費用パラダイムからの分析」, 「我が国の流通機構と独占禁止政策」, 「日本の独占禁止政策の展開」, 「日本的価格形成とリベート制度」, 「流通規制と商慣行」他多数